

令和4年度 指定管理者 実績評価シート

No.	111		
施設名	高山市上水道施設	担当課	上水道課
		地域名	全市地域
指定管理者	(株)高山管設備グループ		
		内線	2254

1 施設の概要

施設所在地	高山市下切町1925				
設置目的	水道水の供給				
施設の概要	水道水の元となる原水を取水する施設(取水施設)、取水した原水を浄水する施設(浄水施設)、浄水した水道水を貯留する施設(配水池)、原水や浄水した水道水を送る施設(導水・送配水施設)				
公共施設等総合管理計画	施設のあり方	方針	継続	時期	-
重要度の高い施設については、予防保全による施設の安定稼働を図る。					

2 指定管理者制度の導入状況

制度の当初導入	平成 18 年 4 月	募集の方法	公募
現在の指定期間	平成 31 年度 ~ 令和 5 年度 (5 年間)		
利用料金制	無	評価区分	Ⅲ(施設管理が主である施設(上水道、市営住宅、公設卸売市場、都市・地区公園))

3 適正な管理に関する状況

管理職員の配置	
配置人員	常勤 役員7人、社員・職員20人
	非常勤

業務実施状況等の随時調査の実施状況及び結果	
実施日	調査内容及び結果
9月30日	管理経費等の出納状況について、経理簿及び支出伝票により調査を実施し、特に改善が必要な事案が無いことを確認した。
3月13日	管理経費等の出納状況について、経理簿及び支出伝票により調査を実施し、特に改善が必要な事案が無いことを確認した。

4 管理水準の向上に関する状況

業務計画における達成状況	
実施目標	達成状況
基本目標を3つのA(安心・安全・安定)と定め「いつでも・どこでも・おいしい水道」が継続して利用できるよう維持管理に努めます。水道水の品質管理を強化する為、国の水質基準を参考に独自で水質目標値を定め、達成に向け努力します。	自主研修により職員のスキルアップを図り、事故なく安定供給を行った。 法定水質基準より厳しい水質管理基準を設定し、水質の安定に努めた。
施設の管理に対する改善提案・取り組み	
改善提案	取り組み状況
グリーン転換促進への取り組みとして、鈴木商事株式会社とデマンドレスポンスを実施する契約を結びました。 下切取水場水中油分計故障中の油分流入対策として、取水口にオイルフェンスを設置(仮設)しました。	電力需給の逼迫改善に寄与する取り組みを開始した。 事故を未然に防止する対策を行った。

5 利用促進・サービス向上に関する状況

モニタリング調査結果							
方法	アンケート	方法	ホームページのアンケートフォーム		件数	77 件	
	その他の手法	市役所上水道課窓口でアンケートを実施					
	意見交換会						
アンケート結果(%)		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	未記入
①	水道水の信頼度	95.4	4.6				100
②							
③							
利用者等からの要望・意見と対応		要望・意見			対応		
指定管理者に対する意見	①	高山の水はおいしい。			特に対応が必要となる意見なし		
	②	コロナ禍でも、いつも変わらず水道が使えることに感謝する。					
	③	水道水ができるまでの動画は、わかりやすく良い。来年は施設見学を望む。					
市に対する意見	①						
	②						
	③						

自主事業の実施状況

実施内容	実績及び評価
自主安全教育の実施、小学校への水道啓発活動、花壇等の環境整備	コロナ禍による浄水場運営維持のため、水道施設の見学を中止したが、代替策として小学校への啓発品の配付や動画配信により水道事業の啓発活動を行った。

6 安定した管理能力に関する状況

人材育成の状況	
実施内容	対象・回数など
水道技術教育	職員を対象として年6回
危機管理、安全管理教育	職員を対象として年2回
資格取得教育	職員を対象として随時

地域との連携・取り組み内容	
取り組み	結果・成果
水道施設の点検時に、施設周辺の環境美化活動を実施	施設周辺の草刈や倒木処理など環境美化を行っている。
水道施設周辺の道路、水路等の清掃活動を実施	施設周辺の道路清掃や水路の流水確保を行っている。

7 収支に関する状況(経費の縮減)

(単位:千円)

	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	主な内容
収入	使用料				
	指定管理料	472,004	480,916	479,141	527,113 増額変更
	その他	174	280	3	3 預金利子等
収入合計	472,178	481,196	479,144	527,116	
支出	人件費	143,207	143,527	143,861	145,672 給料
	事務費	14,518	16,150	14,849	14,381 消耗品費他
	管理費	297,866	284,240	294,377	350,047 電気使用料他
	事業費				
	公租公課	2,148	4,490	3,400	2,700 消費税他
	その他				
	精算金	161	41	15	25 除雪費、修繕費
納入金					
支出合計	457,900	448,448	456,502	512,825	
指定管理業務収支	14,278	32,748	22,642	14,291	
自主事業収支	△ 285	△ 329	△ 234	△ 212	
全体収支	13,993	32,419	22,408	14,079	
[法人税等]	4,780	10,871	6,502	4,346	

8 指定管理者の評価

項目	評価	前年	評価に対する内容
適正な管理(40)	b (30.0)	b	水道施設の機能を維持し、事故なく適切な施設管理を行った。また、大雨や寒波による異常時にも臨機の対応を行い、断水を極力回避し給水を継続した。
管理水準の向上(20)	b (15.0)	c+	安心安全な水道水の安定供給を目指して、国が定める水質基準より厳しい自主水質管理目標値を設定し重点管理することで、水質の安全性の向上を図った。また、配水池の貯水能力を有効活用し、電力需要を抑制するデマンドレスポンスの取り組みを開始した。
利用促進・サービス向上(10)	b (7.5)	b	コロナ禍による浄水場運営維持のため、水道施設の見学の実入れを中止したが、代替策として浄水場の水処理工程を説明する動画「暮らしの水ができるまで」をHPで配信するなど、水道への理解を深めるための活動を行った。
安定した管理能力(20)	b (15.0)	b	施設管理能力の向上を図るため、水道技術者の育成や危機管理、安全対策に関する教育を実施し、職員の技術資格取得にも繋がっている。
経費の縮減(10)	b (7.5)	b	デマンド監視による効率的な運転管理と電力会社との相対契約により、主たる経費である電気使用料の縮減が図られている。
総合評価	B (75.0)	B	市域に散在する水道施設を適正かつ効率的に管理運営したことに加え、緊急時においても適切な対応により断水を極力回避し、水道水の安定供給を行っている。